

■交読 詩篇28篇1～9節

- 1 主よ 私はあなたを呼び求めます。
わが岩よ どうか私に耳を閉ざさないでください。
私に沈黙しないでください。
私が 穴に下る者どもと同じにされないように。
- 2 私の願いの声を聞いてください。
私があなたに助けを叫び求めるとき。
私の手を あなたの聖所の奥に向けて上げるとき。
- 3 どうか 悪者や不法を行う者どもと一緒に
私を引いて行かないでください。
彼らは隣人（となりびと）と平和を語りながら
その心には悪があるのです。
- 4 彼らの行いとその悪にしたがって
彼らに報いてください。
その手のわざにしたがって彼らに報い
その仕打ちに報復してください。
- 5 彼らは 主のなさることも
御手（みて）のわざをも悟らないので
主は彼らを打ち壊し 建て直すことはされません。
- 6 ほむべきかな 主。
主は私の願いの声を聞かれた。
- 7 主は私の力 私の盾。
私の心は主に拠り頼み 私は助けられた。
私の心は喜び躍り
私は歌をもって主に感謝しよう。
- 8 主は彼らの力。
主は 主に油注がれた者の救いの砦。
- 9 どうか御民（みたま）を救ってください。
あなたのゆずりの民を祝福してください。
どうか彼らの羊飼いとなって
いつまでも彼らを携え導いてください。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書26章36～46節

- 36 それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという場所に来て、彼らに「わたしがあそこに行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。
- 37 そして、ペテロとゼベダイの子二人と一緒に連れて行かれたが、イエスは悲しみもだえ始められた。
- 38 そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほごです。ここにいて、わたしと一緒に目を覚ましていなさい。」
- 39 それからイエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈られた。「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにはではなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」
- 40 それから、イエスは弟子たちのところに戻って来て、彼らが眠っているのを見、ペテロに言われた。「あなたがたはこのように、一時間でも、わたしとともに目を覚ましていられなかったのですか。」
- 41 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っていなさい。霊は燃えていても肉は弱いのです。」
- 42 イエスは再び二度目に離れて行って、「わが父よ。わたしが飲まなければこの杯が過ぎ去らないのであれば、あなたのみこころがなりますように」と祈られた。
- 43 イエスが再び戻ってご覧になると、弟子たちは眠っていた。まぶたが重くなっていたのである。
- 44 イエスは、彼らを残して再び離れて行き、もう一度同じことばで三度目の祈りをされた。
- 45 それから、イエスは弟子たちのところに来て言われた。「まだ眠って休んでいるのですか。見なさい。時が来ました。人の子は罪人たちの手に渡されます。」
- 46 立ちなさい。さあ、行こう。見なさい。わたしを裏切る者が近くに来ています。」

■聖歌643「ひたすら求めよ」(1, 4節)

①ひたすら求めよ 今も主は 誓いの御霊(みたま)を与えたもう

※今も主は 変わりなき 御手(みて)もて 世人(よびと)を救いたもう

④御旨(みむね)を行え 今も主は 栄えのかむりを約(やく)したもう

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」